



2021年8月3日

各位

会社名 株式会社ダイセル  
 代表者名 代表取締役社長 小河 義美  
 (コード番号 4202 東証 市場第一部)  
 問合せ先 事業支援本部副本部長 (兼)  
 事業支援本部 I R 広報グループ  
 リーダー 廣川 正彦  
 (TEL 03-6711-8121)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月12日に公表しました、2022年3月期第2四半期累計期間連結業績予想および2022年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期第2四半期累計期間通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 207,000	百万円 14,000	百万円 15,000	百万円 11,000	円 銭 36.50
今回修正予想 (B)	222,000	23,000	24,000	16,000	53.10
増減額 (B - A)	15,000	9,000	9,000	5,000	—
増減率 ( % )	7.2	64.3	60.0	45.5	—
(ご参考)前年同期実績 (2021年3月期第2四半期)	175,346	9,107	10,166	3,273	10.78

## 2. 2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 420,000	百万円 27,000	百万円 29,000	百万円 22,000	円 銭 73.01
今回修正予想 (B)	435,000	35,000	37,000	24,000	79.65
増減額 (B - A)	15,000	8,000	8,000	2,000	—
増減率 ( % )	3.6	29.6	27.6	9.1	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	393,568	31,723	34,683	19,713	65.18

### 3. 修正理由

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、一部の事業が半導体不足による自動車減産の影響を受けたものの、化粧品原料や電子材料関連製品、エンジニアリングプラスチックなどの需要が想定より強く販売数量が増加したことや、製品市況の上昇などにより、各セグメントで想定を上回る結果となりました。

第2四半期以降、新型コロナウイルスの感染再拡大や半導体不足の影響など先行き不透明な状況ではありますが、第1四半期連結累計期間の経営成績、需要や製品市況の見通し、原料前提の見直しなどを踏まえ、2021年5月12日に公表した2022年3月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を上記の通り上方修正いたしました。

- ※1. 業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。
- ※2. 今回発表予想の第2四半期以降の前提につきましては、為替相場は105円/US\$、メタノールアジアスポット価格はUS\$340/ton、ドバイ原油価格はUS\$70/bbl、国産ナフサ価格は48,000円/kgを想定しております。

以 上